

LM・ブラジル高配当株ファンド (毎月分配型)

追加型投信／海外／株式

交付運用報告書

第61期 (決算日2016年2月23日) 第62期 (決算日2016年3月23日) 第63期 (決算日2016年4月25日)
第64期 (決算日2016年5月23日) 第65期 (決算日2016年6月23日) 第66期 (決算日2016年7月25日)

作成対象期間 (2016年1月26日～2016年7月25日)

第66期末 (2016年7月25日)	
基準価額	3,723円
純資産総額	4,364百万円
第61期 ～ 第66期	
騰落率	54.0%
分配金 (税込み) 合計	240円

(注) 騰落率は分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書 (全体版) に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書 (全体版) に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書 (全体版) は、レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社のホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書 (全体版) は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書 (全体版) の閲覧・ダウンロード方法>
ホームページの「ファンド情報・基準価額一覧」等から当ファンドを選択することにより、運用報告書 (全体版) を閲覧及びダウンロードすることができます。

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「LM・ブラジル高配当株ファンド (毎月分配型)」は、2016年7月25日に第66期の決算を行いました。

当ファンドは、配当収入の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内一丁目5番1号

お問い合わせ先

TEL 03-5219-5947

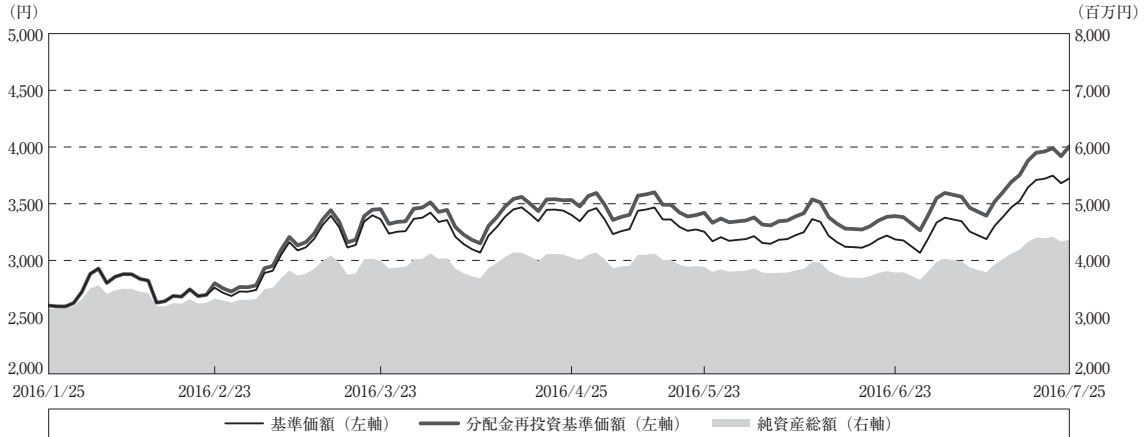
(営業日の9:00～17:00)

<http://www.leggmason.co.jp>

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

（2016年1月26日～2016年7月25日）



第61期首：2,602円

第66期末：3,723円（既払分配金（税込み）：240円）

騰落率：54.0%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2016年1月25日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当作成期末（2016年7月25日）のLM・ブラジル高配当株ファンド（毎月分配型）（以下、当ファンド）の基準価額は3,723円（分配金控除後）となりました。当作成期の当ファンドのパフォーマンス（騰落率）はプラス54.0%（分配金再投資ベース）、基準価額は1,361円（分配金込み）上昇しました。株式要因、為替要因がともにプラスに寄与しました。

1万口当たりの費用明細

（2016年1月26日～2016年7月25日）

項 目	第61期～第66期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	円 30 (14) (14) (1)	% 0.951 (0.457) (0.456) (0.038)	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料 (株式)	5 (5)	0.157 (0.157)	(b) 売買委託手数料＝作成期間の売買委託手数料÷作成期間の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) その他費用 (保管費用) (監査費用) (印刷等費用)	4 (3) (0) (1)	0.131 (0.109) (0.006) (0.016)	(c) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 印刷等費用は、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出に係る費用
合 計	39	1.239	
作成期間の平均基準価額は、3,146円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

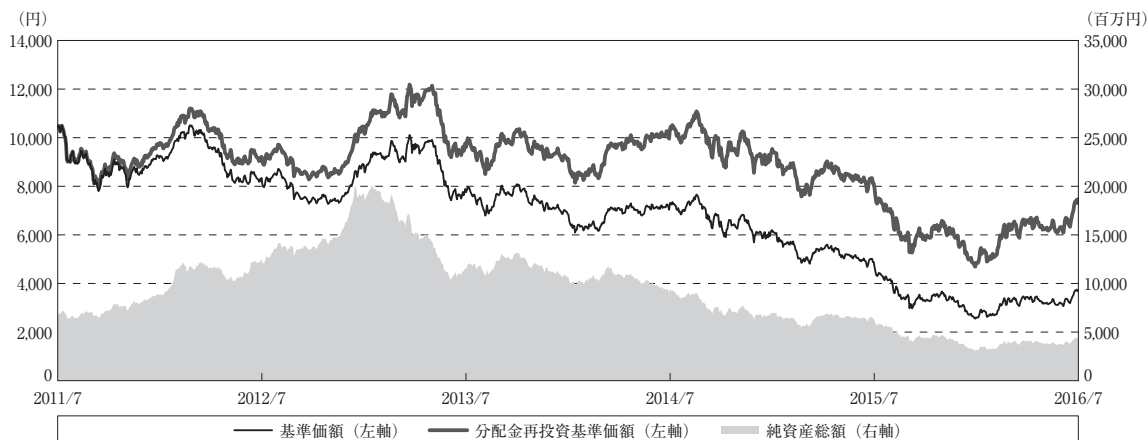
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

最近5年間の基準価額等の推移

（2011年7月25日～2016年7月25日）



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2011年7月25日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2011年7月25日 決算日	2012年7月23日 決算日	2013年7月23日 決算日	2014年7月23日 決算日	2015年7月23日 決算日	2016年7月25日 決算日
基準価額 (円)	10,430	8,086	7,858	7,305	4,676	3,723
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	960	960	960	960	560
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△13.5	9.0	6.4	△24.4	△5.5
純資産総額 (百万円)	6,657	12,129	11,688	9,315	6,123	4,364

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率及びリスク特性を特定のベンチマーク等と比較していません。

投資環境

（2016年1月26日～2016年7月25日）

当作成期のブラジル株式市場は上昇しました。

期の前半は、中国の追加緩和決定や原油価格の持ち直しなどを背景に、投資家のリスク回避姿勢が緩んだことから、株式市場は強含みとなりました。さらに、ブラジルの汚職捜査を巡り、ルセフ大統領の弾劾や政権交代への期待が高まったことなどから、株式市場は上値を伸ばす展開となりました。

期の半ばは、資源価格が底堅く推移したことに加え、大統領弾劾審議の採決に向けた動きが進み、政権交代への期待感が膨らんだことなどから、株価は上昇基調が続きました。その後、大統領の停職が決定し、副大統領を暫定大統領とする新体制へ移行したものの、閣僚の辞任が相次ぐなど政局への不透明感が払拭されず、株価は上値を抑えられました。

期の後半は、米国の利上げペースが後退するとの見方や、ブラジルの経済指標が予想を上回り、景気底打ちへの期待感が強まったことなどから、株式市場は強含みとなりました。さらに、テメル暫定政権による財政健全化への期待感や、日欧などの中央銀行が世界経済の下支えのため追加緩和を実施するとの見通しなどが、株価を一段と押し上げました。

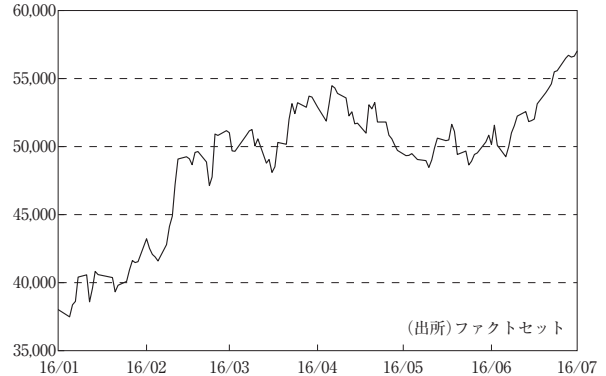
当作成期のブラジルリアル・円相場は、リアル高・円安となりました。

期の前半は、中国の追加緩和決定や原油価格の持ち直しなどを背景に、投資家のリスク回避姿勢が緩んだことから、リアル買い・円売りが優勢となりました。さらに、ルセフ大統領の弾劾や政権交代への期待が高まったことなどから、リアル買い・円売りが強まりました。

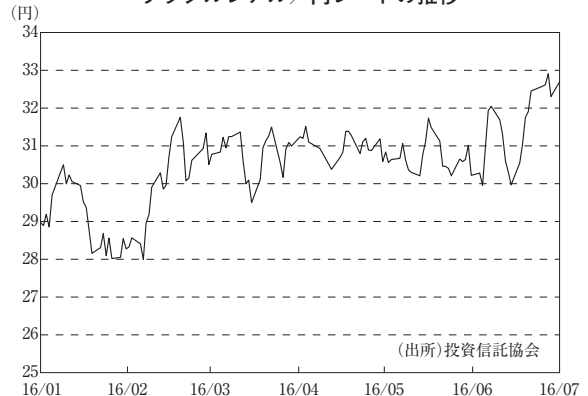
期の半ばは、原油価格が下落する場面では、リスク回避姿勢が意識されたことから、一時リアル売り・円買いが優勢となりました。しかし、大統領の弾劾へ向けた動きが進み、政権交代への期待が高まったことなどから、リアルは底堅く推移しました。

期の後半は、英国の国民投票で欧州連合（EU）離脱が決定され、投資家のリスク回避姿勢が強まったことから、一時リアル売り・円買いが優勢となる場面がありました。しかし、その後、テメル暫定政権への期待感や、ブラジル中央銀行（BCB）の新総裁がインフレ抑制を目的に利下げに慎重な姿勢を示したことなどから、リアル買いが優勢となりました。

ブラジルボエスパ指数の推移



ブラジルリアル／円レートの推移



当ファンドのポートフォリオ

（2016年1月26日～2016年7月25日）

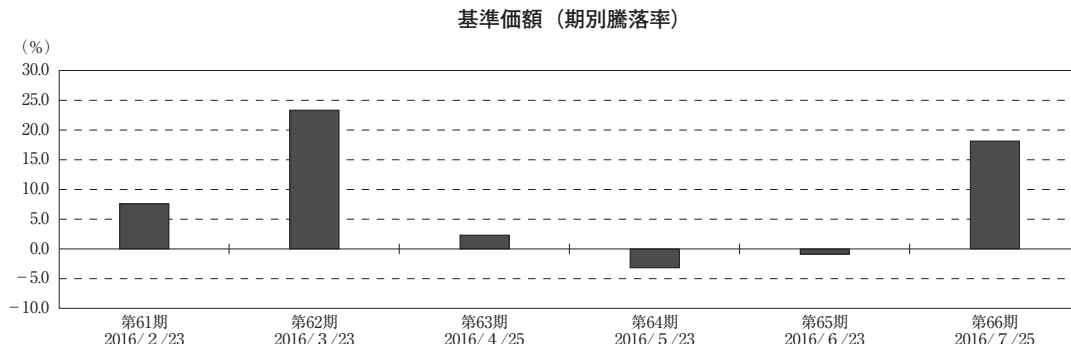
当ファンドは「LM・ブラジル高配当株マザーファンド」受益証券への投資を通じて、主にブラジルの証券取引所に上場している株式に投資を行うことにより、配当収入の確保と信託財産の中長期的成長を目指して運用に努めます。また、組み入れ外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。当作成期においては、高水準の配当利回りが期待できるブラジル株式への投資を行いました。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2016年1月26日～2016年7月25日）

市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率及びリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

以下のグラフは、作成期間の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



（注）基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

分配金

（2016年1月26日～2016年7月25日）

分配金につきましては、基準価額動向や保有株式の配当収入等を勘案し、以下の通りとさせていただきます。なお、収益分配に充当しなかった利益につきましては信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行います。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項 目	第61期	第62期	第63期	第64期	第65期	第66期
	2016年1月26日 ～2016年2月23日	2016年2月24日 ～2016年3月23日	2016年3月24日 ～2016年4月25日	2016年4月26日 ～2016年5月23日	2016年5月24日 ～2016年6月23日	2016年6月24日 ～2016年7月25日
当期分配金	40	40	40	40	40	40
（対基準価額比率）	1.429%	1.175%	1.162%	1.215%	1.240%	1.063%
当期の収益	29	10	15	35	—	3
当期の収益以外	10	29	24	4	40	36
翌期繰越分配対象額	1,053	1,024	999	995	955	919

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

ブラジル経済については、2016年1－3月期のGDP成長率の下落幅が予想以上に縮小するなど、足元では景気底打ちの兆しも見え始めています。今後は、テメル暫定政権による経済・財政政策運営の動向に注目が集まります。テメル政権は財政赤字の縮小を段階的に図り、2019年に公的部門の基礎的財政収支を黒字化させる方針を示しました。

金融政策については、ゴールドファイン氏がBCBの新総裁に就任し、インフレ抑制を強調し利下げに慎重な姿勢を示しています。市場では、BCBが当面、政策金利を据え置くと予想しており、財政政策の進展がインフレ見通しの改善および金融緩和への転換のカギを握ると考えられます。

為替市場については、ゴールドファイン新総裁が当面の政策金利の据え置きを示唆するとともに、レアル高をけん制する為替介入については消極的な姿勢を見せていることなどが、レアル相場の下支え要因となると見込まれます。また、日本では日銀が積極的な緩和姿勢を継続していることなどから、レアルは対円で底堅く推移するものと考えられます。

株式市場については、テメル暫定政権による経済・財政改革への期待感を背景に、上昇基調が続いてきましたが、今後は財政健全化を巡る議会審議などが控えており、政策の実現性を見守る展開が予想されます。一方、米国の利上げペースが緩やかになるとの見通しは投資家心理の改善につながり、ブラジルの株式市場を下支えすると見込まれます。

お知らせ

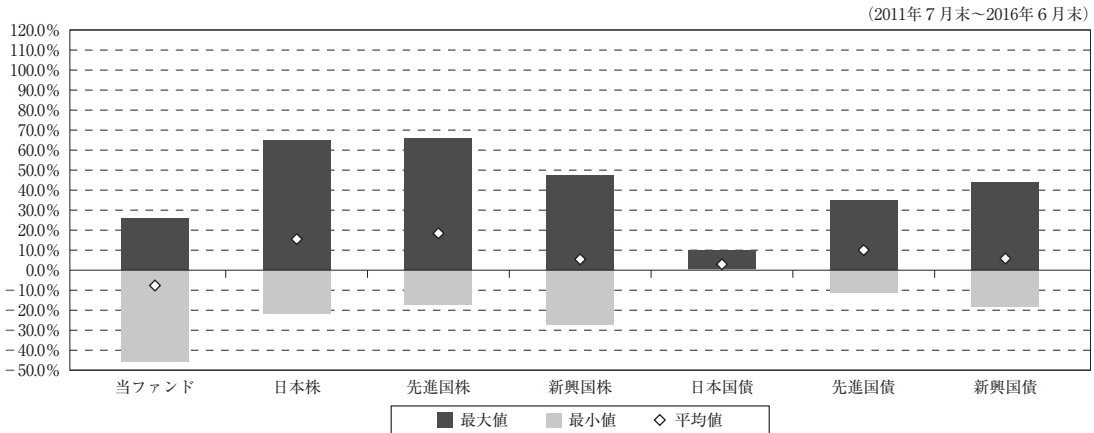
該当事項はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2011年1月24日～2021年1月25日まで	
運用方針	主にブラジルの証券取引所に上場している株式に投資を行うことにより、配当収入の確保と信託財産の中長期的成長を目指します。	
主要投資対象	当ファンド	「LM・ブラジル高配当株マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	LM・ブラジル高配当株マザーファンド	ブラジルの証券取引所に上場している株式を主要投資対象とします。
運用方法	当ファンド	「LM・ブラジル高配当株マザーファンド」受益証券の組入比率は、原則として高位を維持します。 株式への実質投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	LM・ブラジル高配当株マザーファンド	主に配当利回りに着目し、相対的に配当利回りの高い銘柄を中心に投資します。また、銘柄の流動性に配慮しながらポートフォリオを構築します。 株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	決算日（原則として毎月23日。休業日の場合は翌営業日）に、基準価額水準等を勘案して収益の分配を行います。	

（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



（単位：％）

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	25.7	65.0	65.7	47.4	10.1	34.9	44.1
最小値	△45.7	△22.0	△17.5	△27.4	0.4	△11.2	△18.1
平均値	△7.7	15.5	18.4	5.4	2.9	10.0	5.8

（注）全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

（注）2011年7月から2016年6月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドは、2012年1月以降の年間騰落率を用いています。

（注）上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

（注）当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

* 各資産クラスの騰落率を計算するために使用した指数

日本株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株：MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、ヘッジなし・円ベース）

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、ヘッジなし・円ベース）

日本国債：シティ日本国債インデックス（円ベース）

先進国債：シティ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）

新興国債：シティ新興国市場国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）

（注）海外の指数は、各資産クラスに為替ヘッジなしによる投資を行うことを想定して、円ベースの指数を採用しております。

（注）上記各指数に関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はその指数を算出、公表しているそれぞれの主体に帰属します（TOPIX：株式会社東京証券取引所、MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックス：MSCI Inc.、シティ日本国債インデックス、シティ世界国債インデックス、シティ新興国市場国債インデックス：Citigroup Index LLC）。また、それぞれの主体は当ファンドの運用に関して一切の責任を負うものではありません。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2016年7月25日現在)

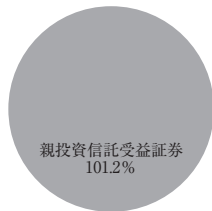
○組入上位ファンド

銘柄名	第66期末
LM・ブラジル高配当株マザーファンド	101.2%
組入銘柄数	1銘柄

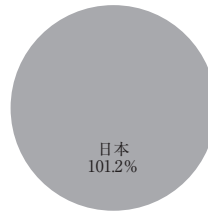
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

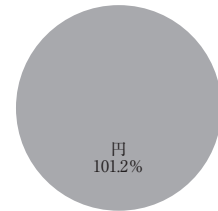
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は組入資産（現金等を除く）の当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) 通貨別配分は組入資産（現金等を除く）を通貨で区分したものであり、通貨変動に伴うファンドの価格変動リスクと異なることがあります。

純資産等

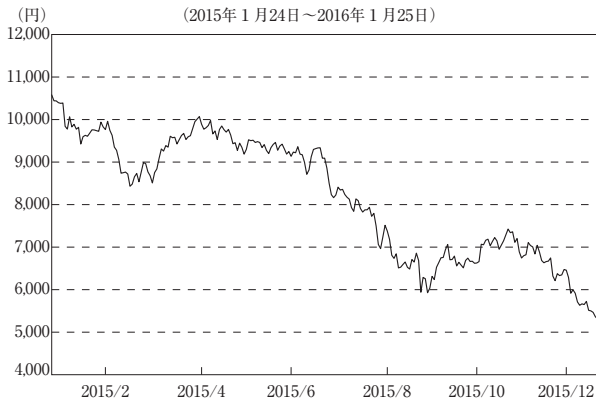
項目	第61期末	第62期末	第63期末	第64期末	第65期末	第66期末
	2016年2月23日	2016年3月23日	2016年4月25日	2016年5月23日	2016年6月23日	2016年7月25日
純資産総額	3,327,832,745円	3,989,848,764円	4,056,020,015円	3,885,660,886円	3,786,025,976円	4,364,393,102円
受益権総口数	12,063,814,151口	11,864,095,781口	11,924,863,334口	11,943,911,585口	11,888,335,951口	11,723,748,198口
1万円当たり基準価額	2,759円	3,363円	3,401円	3,253円	3,185円	3,723円

* 当作成期間（第61期～第66期）中における追加設定元本額は854,809,598円、同解約元本額は1,221,138,669円です。

組入上位ファンドの概要

LM・ブラジル高配当株マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2015年1月24日～2016年1月25日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株式)	13円 (13)	0.158% (0.158)
(b) その他費用 (保管費用)	16 (16)	0.191 (0.191)
合計	29	0.349

期中の平均基準価額は、8,250円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

(2016年1月25日現在)

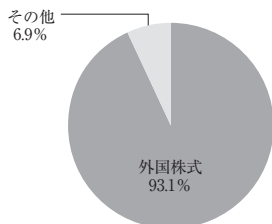
	銘柄名	業種／種別等	通貨	国（地域）	比率 %
1	AMBEV SA	生活必需品	ブラジルリアル	ブラジル	8.6
2	TELEFONICA BRASIL S.A.	電気通信サービス	ブラジルリアル	ブラジル	8.6
3	ITAUSA-INVESTIMENTOS ITAU-PR	金融	ブラジルリアル	ブラジル	8.2
4	AES TIETE ENERGIA SA-UNIT	公益事業	ブラジルリアル	ブラジル	5.9
5	BB SEGURIDADE PARTICIPACOES	金融	ブラジルリアル	ブラジル	5.2
6	CETIP SA-MERCADOS ORGANIZADO	金融	ブラジルリアル	ブラジル	4.7
7	BANCO BRADESCO SA-PREF	金融	ブラジルリアル	ブラジル	4.3
8	ODONTOPREV S.A.	ヘルスケア	ブラジルリアル	ブラジル	4.3
9	TUPY SA	一般消費財・サービス	ブラジルリアル	ブラジル	4.3
10	MAHLE-METAL LEVE SA	一般消費財・サービス	ブラジルリアル	ブラジル	4.3
	組入銘柄数		25銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

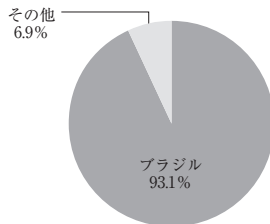
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注) 国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

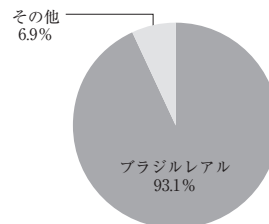
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は組入資産の当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) 通貨別配分は組入資産を通貨で区分したものであり、通貨変動に伴うファンドの価格変動リスクと異なることがあります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書（全体版）をご参照ください。